1　通常の使用方法

1.1 携帯電話の接続・取り外し

FOMA 用コネクタに携帯黒電話を接続してください。
携帯電話接続時にはベルが「キンコン」と鳴ります。
携帯電話取り外し時には「キンコン、キンコン」と鳴ります。

1.2 充電

AC アダプタを差し込むと、携帯黒電話および接続した携帯電話の充電をします。
携帯黒電話の充電開始時には「キンコン」と鳴り、
終了時には「キンコン、キンコン」と鳴ります。
黒電話の充電池を完全に使い切ってしまった場合、AC アダプタを差し込んでから
「キンコン」と鳴るまでに 1 分程度かかる場合があります。

携帯黒電話と、携帯電話のバッテリーが充電されていれば、AC アダプタを外して、持ち運び使用することができます。
注意：黒電話と携帯電話を接続していると、携帯電話の電池が非常に早く無くなります。（携帯電話の機種によっては待ち受けで半日程度しか持たない場合もあります）。
黒電話の充電池の持続時間は、携帯電話を接続しているかどうかにはあまり関係ありません。

1.3 着信

携帯電話に着信があると黒電話内のベルが鳴ります。
ただし、マナーモードにしてある場合には鳴りません。（2.1 参照）

1.4 発信

受話器を上げて、受話器から「ツー」という音がするのを確認します。
黒電話のダイヤルを回してダイヤルします。
携帯電話の機種によっては、同じ番号に連続して発信できない場合があります。
その場合は、しばらく（3 分程度かかる機種もあります）時間をあけてから再度ダイヤルしてください。

1.5 フッキング

受話器が上がった状態の時に電話がかかってきた場合、電話を取るには、
フックを押して、0.5 秒以内に離してください。
受話器を置いた状態の時に電話がかかってきて、着信拒否をするには、
受話器を上げて、0.5 秒以内に置いてください。

1.6 短縮ダイヤル

受話器を上げてダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離します。
「1」から「9」と「0」が、携帯にセットした短縮ダイヤル 1～10 に対応して、短縮発信できます。
（携帯の種類によっては短縮ダイヤルでなく、アドレス帳番号 001～010 に対応しているようです）。
携帯電話の機種によって番号の割り当てが異なるので、確認してから使用してください。

1.7 リダイヤル

受話器を上げて、「ツー」という音を確認した後、フッキング（フックを押して、0.5 秒以内に離す）をしてください。
最後にダイヤルした番号にダイヤルします。
ただし、黒電話でダイヤルした番号に限ります。携帯電話の操作で発信したダイヤルにはこのリダイヤル機能は使えません。
リダイヤルが作動すると、ベルが「キンコン、キンコン、キンコン」と鳴ります。
受話器を上げて、フッキングを行う間には何もダイヤルしないでください。
使用できる電話番号は 15 桁までです。

携帯電話の機種によっては、同じ番号に連続して発信できない場合があります。その場合は、リダイヤル機能は使用できません。

出荷時は、リダイヤル禁止モードに設定されています（2.3 参照）。

2　各種モード設定

2.1 着信ベル有効モード（マナーモード）

受話器を置いたまま「１」のダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離します。
するとベルが「キンコン、キンコン」と鳴り、着信ベルが無効（マナーモード）になります。
もう一度同じ操作をすると、「キンコン」と鳴り、着信ベルが有効になります。
出荷時・リセット後（2.4 節参照）には着信ベルは有効になります。

2.2 タイマー機能無効モード

タイマー機能が動作しないようにすることができます。
受話器を置いたまま「２」のダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離します。
するとベルが「キンコン、キンコン」と鳴り、タイマー機能が無効になります。
もう一度同じ操作をすると、「キンコン」と鳴り、タイマー機能が有効になります。
出荷時・リセット後にはタイマー機能は有効になります。

2.3 リダイヤル禁止モード

かばんの中に携帯黒電話を入れて運んだりする際、荷物が当たってフッキングされてしまい、勝手にリダイヤル機能が作動する可能性があります。
これを回避するために、以下の「リダイヤル禁止モード」を使用してください。
受話器を置いたまま「３」のダイヤルを回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離します。
するとベルが「キンコン」と鳴り、リダイヤル禁止モードになります。
もう一度同じ操作をすると、「キンコン、キンコン」と鳴り、通常のモードになります。
出荷時・リセット後にはリダイヤル禁止モードに設定されます。

＊各種設定の「キンコン」の回数は、１回が YES（有効)、２回が NO（無効・禁止）と考えると分かりやすいです。

2.4 リセット

携帯黒電話に何らかの異常（着信ベルが鳴らなくなるなど）が発生した場合、リセットを試してみてください。
受話器を置いた状態でダイヤル「０」を回し、指止めのところで２秒ほど止めます。
「キンコン」と鳴ったら指を離してください。
すると、「キンコン」と５回鳴って、携帯黒電話マイコンのリセットがかかります。

各種モード設定が出荷時の状態に戻ります。
・リダイヤル禁止
になります。

2.5 ベルテスト

受話器を置いたまま「９」をダイヤルすると呼び出し音のベルが鳴ります。
受話器を上げると止まります。

3　タイマー機能

タイマー機能は無効にすることができます。切り替える方法は 2.2 を参照してください。

3.1　タイマー

受話器を置いた状態でダイヤル「１」～「４」を回します。
「１」が 15 秒、「２」が 1 分、「３」が 3 分、「４」が 1 時間です。
それぞれに応じたベルが「キンコン」と鳴り、タイマーがセットされます。
タイマー設定時間は、ダイヤルした番号に応じた時間が足し算でセットされます。
例：「３」を回した後「１」を 2 回まわすと、3 分+15 秒×2=3 分 30 秒にセットされます。
タイマー時間に達するとベルが鳴ります。ベルを止めるには、受話器をあげてください。

「０」を回すと「キンコン」と３回鳴り、タイマーがキャンセルされます。

機能のまとめ

番号	受話器を取ってダイヤルする		受話器を置いてダイヤルする	
	普通にダイヤルを回す	ダイヤルを回し、指止めのところで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離す	普通にダイヤルを回す	ダイヤルを回し、指止めのところで止め、「キンコン」と鳴ったら指を離す
1	通常のダイヤル発信	短縮 No.001 に発信	タイマー15 秒	マナーモード
2		短縮 No.002 に発信	タイマー1 分	タイマー禁止モード
3		短縮 No.003 に発信	タイマー3 分	リダイヤル禁止モード
4		短縮 No.004 に発信	タイマー60 分	
5		短縮 No.005 に発信		
6		短縮 No.006 に発信		
7		短縮 No.007 に発信		
8		短縮 No.008 に発信		
9		短縮 No.009 に発信	ベルテスト	
0		短縮 No.010 に発信	タイマーキャンセル	リセット

以上です。
それでは、携帯黒電話ライフを楽しんでいただければ幸いです！

２００９年１２月　ＴＴＲＭＫＲ

ver. 1.00